

1 国語科

見方・考え方と手立て

見方・考え方	
対象と言葉，言葉と言葉の関係を，言葉の意味，働き，使い方等に着目して捉え，自分の思いや考えを形成し深めること。	

気付く学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 自ら学習課題を見つけ，課題を通して何を学ぶのかを明確に知る。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 単元の初めに教材文を通読させ，単元の全体構想をつかんだ上で，単元全体の課題や時間毎の課題の見通しをもたせる。 前時の想起をもとに，学習課題を考えさせ，生徒の言葉を使いながらまとめる。 初発の感想→疑問→キーワード→課題 考えた学習課題の中から，自分たちが取り組みたいものを選び学ばせる。
深化する学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 他の生徒と意見を交換することで，自分と異なる意見・見方に気付いたり，自分の考えを修正したりしながら自分の意見を深める。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 物語や説明文で，書かれていることを根拠に，登場人物の心情や筆者の考えを読み取る時間を設定する。 グループでの話し合い活動や，全体発表をもとに，読み取りの幅を広げさせる。 個人で使うワークシートと話し合いで使うホワイトボード等を視覚的に関連させ，活動間の思考の意向が円滑になるようにする。 グループ活動での司会の役割や話し合いの手順を明確にし，話し合い活動を円滑にすすめられるスキルを身に付けさせる。
つなげる学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の価値について実感をもち，他教科，実生活に生かす。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業の振り返りシートに「できたこと」と「他の教科や生活で役立つようなこと」を記入し，学習したことが何に生かせるかを考えさせる。 振り返りシートに複数回分の授業の振り返りが記入できる形式にし，生徒がシートを見て変容がわかるようにする。 他の教科や生活で役立つようなことを授業内で教師が紹介する。

2 社会科

見方・考え方と手立て

見方・考え方	
<p>社会的事象に対する関心を高め、さまざまな視点からものごとを捉えることで、社会を構成する一人であるとの自覚や社会参画への態度を育てること。</p>	

気付く学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活と社会的事象の結び付きに気付く。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> I C T機器を活用し、本時の学習内容を想起させる地図、グラフ、写真などを提示する。 生徒の日常生活に基づいた「答えが一つにならない問題」を提示し、そこから出た疑問をもとに課題をイメージさせる。
深化する学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 協働的な探究活動に取り組む。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 資料などを基に、課題に対する自分の考えをノートやワークシートに記入する。 課題解決に向けてペアやグループで話し合わせ、考えを深めさせる。 各班の考えを発表させ、学級全体で関連付けながら確認させる。
つなげる学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 地理分野では、地域と人々の生活を関連付け、歴史分野では、事象同士のつながりなどを関連付ける。また、公民分野では、知識や経験を関連付けて考え、よりよい社会の構築を目指す。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 身近な社会問題に対して、「自分なら何ができるか」「どう関わっていくか」を考えさせる。 学習したことを基に、ノートやワークシートに自分の意見をまとめさせ、自分のこととして捉えさせる。 学習したことと日常生活との関わりを感じさせる例や事象を、写真や新聞記事などの資料を使って紹介する。

3 数学科

見方・考え方と手立て

見方・考え方	
<p>事象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、総合的・発展的に考えること。また、数学的活動の楽しさや、数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養うこと。</p>	

受けつづける学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 数学的活動に意欲をもち、自ら課題を見つけて粘り強く探求できる授業を展開する。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事象を題材として導入を行い、事象の中から数学的に解明が必要な点をとらえさせ、課題をもたせる。 課題の提示に際しては、既習段階から次のステップに行くために考察ができるようなものや、学習に取り組みたくなるような魅力的なものを提示する。 必要に応じて既習事項の復習を行い、本時の内容と比較させ、活動内容に対しての必然性をもたせる。
深化させる学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> グループワークを中心としたアクティブラーニングを活用し、数学的活動に取り組める環境を作り、数学的な表現力や処理能力、数学的活動への関心を高める。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> グループワークの特性をよく理解し、積極的に授業に取り入れる。話し合うだけではなく、生徒の意見をつないだり、全体に戻したりして、生徒が数量や図形に対して深く考察し、意見に対して自信がもてるようにする。 個人で追求し、意見をもてるような問題を出してからグループワークにすることで、自信をもって発言ができるようにする。 発展問題やジャンプの課題を用意し、グループで話し合う必要性をもたせ、各々が深く考察できるようにする。
つなげる学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 日常の様々な事象の解決に、数学的な考え方をいようとする姿勢を身に付ける。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入として公理的に扱われる事柄に、様々な身近な事象を用いる。 各単元における利用の節を活用する。グループワーク等を利用し、「なぜその考え方が使えるのか」を話し合わせるなど、既習事項から利用に至る発想を重点においた授業展開を行う。 いろいろな考え方を尊重して、授業の中で取り上げる。また、その際に各考え方のつながりの構造を図解し、論理的な思考の表現の仕方を養う。 レポートでまとめる。

4 理科

見方・考え方と手立て

見方・考え方	
<p>自然の事象や事物に触れる中で、疑問を見つけ、疑問を解決するために、見通しをもって実験・観察を行い、自然の事物・現象から科学的なきまりや法則を導こうとすること。</p>	

気付く学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活でみられる自然現象や单元内・既習の学習から課題を見つける。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> I C T機器を活用し、実験や自然現象などの映像から課題を見つけさせる。 前時の生徒の気付き（考察など）を取り上げ、新たな課題を見つけさせる。 生徒の日常生活に基づいたわかりやすい課題を提示する。 導入の段階で実験や演示を行い、生徒の疑問から課題をつくりあげる。
深化する学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 予想を立てて実験・観察を行わせ、協議して考察する。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 実験に見通しをもたせるために、生活体験や既習事項をもとに予想し、話し合わせる。 各班の実験結果を比較させ、法則を導かせる。 I C T機器を用いて意見を発表させ、生徒の考えを明確にする。 図やモデルなどを提示し、視覚化することで理解を深めさせる。
つなげる学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 他教科や日常生活とのつながりを意識する。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> I C T機器や話し合いをもとに、学習した内容がどの教科、どの場面で生かせるか考えさせる。 日常生活で利用されている例や具体物などを紹介したり、考えさせたりする。 学習した内容の振り返りを行い、どのようなつながりがあるか考えさせる。 学習したことを基にした、発展した問題に取り組ませる。

5 音楽科

見方・考え方と手立て

見方・考え方	
音の流れや音色の組み合わせに込められた想いを感じ取る感性を育むために、演奏を解釈したり価値を考えたりする中で、音色や響きの仕組みに気付き、その素晴らしさ、美しさを味わって聴くこと。	

気付く学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 名演奏を視聴して感想を出し合い、話し合う活動。合唱のパートの中で範唱から自分たちのパートを聞き取り話し合ったり、自分たちの録音を基に課題、改良点を出し合ったりする活動。個人の歌唱を聞き、長所を考え、歌唱の工夫に気付く。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞プリントをもとに、気付いた良い点を指摘し、個々の気付きを大切にさせる。 映画音楽や、放映番組のBGM等、生活の中でどのように広がり、いかに効果的に使われているか気付かせる。 古典音楽の名演を聞かせて、その良さ、構造、作曲者等の背景に気付かせる。 根拠を考えながら、より良い表現の技能に気付かせる。
深化する学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いにする、基本の発表に慣れる。 お互いの意見を交えながら、見識や理解度、考えを深める。 お互いに不明な点を調べ、次の活動につなげる。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 有名な音楽家の名演鑑賞を通して、作品に対する作曲者の思いや願いに迫らせる。 友達の演奏、練習を見て、長所・課題を見出すことにより、自身の演奏の改良につなげられることを学ばせる。 創作活動（グループ活動）の場を多く設定する。 「心の歌」を通して学びを深めさせる。
しなやかに学ぶ	重点	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の働きや音楽文化が、生活や社会と密接に関わっていること、関わってきたことに気付かせ、生活を明るく豊かにする音楽の社会的な働きに関心をもち、音楽を含めた芸術を愛好する気持ちを高める。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 他教科、一般生活につなげる授業を工夫する。 作品が生まれた時代背景、文化について学ばせる。 音を作り出す仕組みを知り、強弱のつけ方と構造を学ばせる。

6 美術科

見方・考え方と手立て

見方・考え方	
鑑賞教育の充実を通して、よさや美しさなどの価値や心情などを感じ取る力である感性や、想像力を働かせ、対象や事象を形や色彩，材料，光などの要素に着目した造形的な視点で捉え，自分としての意味や価値をつくりだすこと。	

気付く学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 絵や彫刻などの感じ取ったことや考えたことなどを基にする鑑賞活動や，デザインや工芸などの目的や条件などを基にする鑑賞活動を行い，作品の鑑賞や制作過程を通して，様々なものの見方や感じ方に気付く。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 古典絵画など名品に触れさせ，そのよさに気付かせる。 ユニバーサルデザインが生活の中でどのように生かされているか気付かせる。 鑑賞シート，作品提示の仕方を工夫して，一人一人の気づきを大切にさせる。 地域の文化財や身近な素材の面白さに着目させる。
深化する学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 発問の工夫を行うことで，疑問に感じたことを「なぜだろう」と考えを深める活動をする。 話し合い活動を取り入れ，個々の感じ方を尊重し合いながら考えを深める。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインを通して，社会的な諸問題について考えさせる。 著名な芸術家の作品鑑賞を通して，作品に対する作者の思いや願いに迫らせる。
しなやかに学ぶ	重点	<ul style="list-style-type: none"> 美術の働きや美術文化が，生活や社会と密接に関わっていることを学び，生活を美しく豊かにする美術の社会的な働きに関心をもち，美術文化を含めた芸術を愛好する気持ちを高める。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 名作が生まれた時代背景や社会情勢について考えさせる。 ユニバーサルデザインを通して社会的な問題について考えさせる。 作品に使用されている素材について考えさせる。 作品鑑賞で得た感動や共感を生かし，お互いの個性を認め，理解し合わせる。

7 保健体育科

見方・考え方と手立て

見方・考え方	
<p>運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる。</p>	

気付く学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 自己の運動や健康を見つめ直し、自分のできていることと、自己の課題を知る。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> I C T機器を使って、視覚的に動きを把握することで生徒の体育への興味・関心を高めさせる。 自分自身の動きを視覚的・客観的に確認することで何ができていて何ができていないかを把握させる。 生徒がどのポイントを見たり、考えたりするのかが分かるように、学習カードの内容を工夫する。
深化する学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動で、自分や友達の改善点を考え、お互いに教え合う。 見て考え、教え合うことによって、お互いに課題や改善点を分かち合ったり、上達を通しての喜びと達成感を感じたりする。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> I C T機器を使って、自分や友達の動きを確認したり、比較したりして、動作の改善点を考えさせる。(スクリーン) 友達の運動を直接見た後、映像を再生させながらどこがよかったのか、どこを工夫すればよかったのかを教え合わせる。(タブレット端末)
しなやかに学ぶ	重点	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力につなげる。 友達と協力して成功を体験することによって自信につなげる。 楽しさや喜び、達成感を感じ、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を高める。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 気づきと深みから考えた内容を、自らの動作に取り入れて実践させる。 特定の種目に限らず、種目を飛び越えての教え合い活動が生まれるようにさせる。

8 技術科

見方・考え方と手立て

見方・考え方	
生活や社会で利用されている技術を，各分野の視点で捉え，よりよい生活を営むために工夫や実践をすること。	

気付く学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 単元相互，あるいは単元内での学習を関連付けて，学習目標を探究していく。 生活や社会で利用されている技術につなげるために，何を目的として学習するのか明確に知る。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> I C T機器を活用するなどして，生活や社会で利用されている技術の場面から学習課題を提示する。 学習課題の提示の場面で，生徒の気付きや考えを取り上げる。
深化する学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 多くの視点から，様々な考えに気付き，自分の考えを深める。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動や全体発表において，他者との関りを通して深く考察し，自分の意見に自信をもたせるようにする。 実践的・体験的な活動を通して，自分の考えの長所を知り，考えを深めさせる。
つなげる学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 他教科や生活に生かしていこうとする姿勢を身に付ける。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容が，実際の生活や社会におけるどの場面で生かせるかを考えさせる。 生活や社会で利用されている技術の例や具体物等を紹介する。

9 家庭科

見方・考え方と手立て

見方・考え方	
<p>家族や家庭，衣食住，消費や環境などに係る家庭事象を各分野の視点で捉え，よりよい生活を営むために工夫や実践をすること。</p>	

気付く学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活につなげるために，何を目的として学習するのか明確に知る。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> I C T機器を活用して，家庭生活の場面から学習課題を提示する。 学習課題の提示の場面で，生徒の気付きや考えを取り上げる。
深化する学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 多くの視点から，様々な考えに気付き，自分の考えを深める。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動や全体発表を通して，深く考察し，自分の意見に自信が持てるようにさせる。 実践的・体験的な活動を通して，自分の考えの長所を知り，考えを深めさせる。
つなげる学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 他教科や家庭生活に生かしていこうとする姿勢を身に付ける。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容がどの場面で生かせるかを考えさせる。 家庭生活上で利用されている例や具体物等を紹介する。

10 外国語（英語）科

見方・考え方と手立て

見方・考え方	
英語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと等のコミュニケーション能力の基礎を養うこと。	

気付く学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活を題材にした導入の中で、学習目標を探求していく。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 新しい表現や文法内容を学習する際に、日常生活の話題や身近な事柄を題材にした口頭導入をする。 身近な話題を用いて、新出表現を紹介することによって日常での使い方に気付かせる。 新出単語を学習するときに身の回りでその英語が使われていることに気付かせる。
深化する学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 新しい表現や文法内容を定着させる。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 一斉読み、ペア読み、一文読み、個人読み、暗唱など音読活動を工夫する。 新出表現を用いた会話活動をペアやグループで行わせる。 D.S (Daily Scene) やまとめでスキットを活用し、グループ活動を行い、会話活動を習得させる。
つなげる学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 英語やその背景にある文化を社会や世界、他者との関わりに着目する。 目的・場面・状況等に応じて自分の考えを伝える。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 実生活での使用場面を想定し、既習事項を用いた会話活動を取り入れる。(ペア・グループ・全体・JET日本人英語教師・ALT)

11 道徳

見方・考え方と手立て

見方・考え方	
<p>答えが一つでない道徳的な課題を自分自身の問題と捉え、自分の考えをもち、他人の意見を聞き、議論すること。</p>	

気付く学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 課題追究意識をもち、道徳的価値を自分との関わりの中で深められる学習目標を立てる。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 事前アンケートを実施し、その結果を紹介する。 日頃の生活の様子を想起させ、日常の生活場面を振り返らせながら、学習目標を立てさせる。
深化する学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 様々な意見や立場を理解し、複数の道徳的価値の対立が生じる場合の行動を考える。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに考えを書かせて、自分の考えや立場をはっきりとさせる。 一人ひとりの立場や考えが分かるように、黒板やスクリーンに提示する。 それぞれの立場の意見から、道徳的価値の対立に対して考えさせる。
つなげる学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 学んだ道徳的価値に照らして、自らの生活や考えを見つめる。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業の感想をワークシートにまとめさせる。 授業の初めに立てた学習目標に対する自分の考えを振り返らせる。 事後アンケートを行い、事前アンケートとの変容を発表、掲示させる。

12 特別支援教育

見方・考え方と手立て

見方・考え方	
<p>各教科等にかかる見方・考え方を生かし，子どもたちが考え，判断する学習場面となること。 また，学習内容を学び，見方・考え方の資質・能力が伸長していくこと。</p>	

気付く学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 生活場面における自分の課題に気付く。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末等で自分の体の動きを投影し，観察させる。 具体物を操作させる。
深化する学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 対話（インタビュー）や体験活動・まとめ活動を通して，学習内容をさらに深める。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 動画を活用し，様々な演技を習得させる。 交流学級の生徒との協同の学びを促す。 買い物体験学習に取り組みせる。 タッチペンを用いた文字を書く練習を行わせる。
つなぐ学び	重点	<ul style="list-style-type: none"> 学んだことを日常生活につなげ，広げる。
	具体的な展開方法	<ul style="list-style-type: none"> 調理実習や誕生日カードの作成，カレンダー作り，思い出のアルバム作りなど，日常生活の中で生きるような取組をさせる。